

【3年生】

	児童に身に付けさせたい力	授業改善のポイント
国語	○主語、述語を正確に捉えて文章を読むこと、書く力 ○思いや考えを自分の言葉で分かりやすく伝える力 ○興味のある本を進んで選び、継続して読む力 ○学年配当漢字を正しく読み書きし、文章の中で適切に使う力	○教材文の視写や文の構成に着目する活動を通して、読む・書く力を育てる。 ○少人数での話し合いやICTを活用して自分の考えを表す機会を設け、表現力を育てる。 ○読書や読み聞かせ、辞書の活用を通して、読書へ意欲と語彙力を育てる。 ○日常の学習活動の中で既習漢字を活用する機会を設け、漢字の読み書きの力を育てる。
社会	○地域について調べる力 ○資料から情報を読み取る力	○調べたことを新聞や地図、年表等にまとめることで、調べる力を育てる。 ○学習する中で疑問に思ったことを観察、調査したり、基本的な資料を活用したりして調べ、理解を深め、次の学習に生かせるようにして、読解力を育てる。 ○資料を読み取る際の手順を繰り返し指導する。また、読み取った内容がどんな事象と関わっているのか、関連付けて理解できるようにして、読解力を育てる。
算数	○2桁以上のたし算・ひき算、九九の暗唱・活用、簡単なわり算の暗算などの基礎基本の計算力 ○量の単位、時間の単位を理解する力 ○問題場面を図に表すなど論理的に考える力	○ベーシックドリルを活用して基礎的な計算力を育てる。 ○時刻や時間を求める際に、模型時計や数直線、式などを使って時間の動きを感覚的に捉えるだけでなく、「時刻」と「時間」の違いと相互関係を考え、求め方を考える力を育てる。 ○文脈どおりに数量の関係を図（線分図・数直線など）に表したり、立式したり、未知数の求め方を説明したりする数学的活動を通して、数量の関係を明確に捉える力を育てる。
理科	○身の回りの生物を探して観察し、生き物の体のつくりや育ち方の法則性に気付く力 ○児童自身が自然の事物や現象を比べて、共通点や差異点に気付き、自分の言葉で疑問として表現する力	○自然事象と関わる機会を十分にとり、科学的思考の素地を育てる。 ○直接体験することが難しいものに関しては、ICTを活用し擬似的に体験させることで気付く力を育成する。 ○導入時に、知っていることや疑問に思っていることの共通点や差異点を伝え合う時間を設け、それらの意見を踏まえて解決できそうな学習問題を作成する活動を通して表現力を育てる。
音楽	○拍の感じを正しくつかんだ、リズムの身体表現力	○児童がより意欲的に取り組めるようなリズムの身体表現の教材を工夫して、表現力を育てる。

図画 工作	○主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、自他の表現に関心をもち見方や感じ方を広げる力 ○形や色などを基に、自分のイメージをもち豊かに表現できる力	○鑑賞の時間を重視して必ず取り入れ、自分の活動を振り返ったり自他の表現の違いに気付いたりする経験を増やして、主体的に学ぶ力を育てる。 ○自分の感覚や行為から自分なりのイメージを生み出すため、じっくり見る、触る、などの感覚的行為の充実を図り、表現力を育てる。
体 育	○自己の運動の課題を意識したり、考えたことを他者に伝えようとしたりする力 ○すすんで運動しようとする力 ○ボールを用いた運動を行う力	○児童同士の対話を促すための発問や言葉かけを増やしていく。課題を明確にして解決の視点を提示し、考えたことを伝える力を育てる。 ○児童の実態や運動の技能を十分に理解し、場の設定やルールを工夫することで運動の特性に応じた楽しさや喜びに触れることができるようにして、運動への意欲を育てる。 ○スモールステップでの課題を設定し、楽しみながら運動を行い、ボールを用いた運動の自信や技能を育てる。
道 徳	○自分の行動をふり返って考えたり、相手の立場に立って考えたりできる力	○タブレットを活用した意見交流や対話の時間を十分に確保し、自分の考えを広げ深める力を育てる。
総合的 な学習 の時間	○体験的な活動に興味・関心をもって参加したり、調べたりしようとする力 ○何をどのように調べたら良いか、調べ方を身に付ける力	○教材や活動、指導計画を工夫して、調査や見学、体験的な活動等を通して個々の課題を見つけ、探究的に学習を進める力を育てる。 ○学習のまとめとして発表会を設けるなど、表現する力を育てる。 ○課題において予想を立て、それを基に調べる計画を立てる力を育成する。
外国語 活動	○外国語への関心をもち、すすんで活動に取り組もうとする力	○児童に身近で分かりやすい教材を扱うようにし、関心意欲を育てる。 ○ゲームなどを通して、表現に親しませ、日頃から学習した表現を意図的に活用し、関心意欲を育てる。 ○モデルやイラストを提示して視覚的な支援を行い、主体的に学ぶ力を育てる。